

みんなで行く武庫川づくり交流会 実施報告

実施日：2013年3月20日（水）13:00～16:00

実施場所：西宮商工会議所 別館2階 大会議室

① 交流会の概要

兵庫県では、地域共有の財産である武庫川を守り育てるため、「参画と協働」による武庫川づくりに取り組むこととしています。この川づくりの実現には、武庫川で活動される皆さんの理解と協力、さらには、個々の活動の充実や、活動団体間の連携などが重要と考えています。そのため、武庫川で活動される皆さんと共に学び、また、活動団体間の交流を深めるとともに、市民連携に関する意識やニーズを把握しながら、次への展開を考えることが必要と考えました。

このたび、その第1弾として、「みんなで行く武庫川づくり交流会」を開催いたしました。この交流会では、市民連携による環境保全活動事例や武庫川の自然環境などについて学ぶとともに、活動団体間の意見交換などを通じて、自然環境面から自律的な市民活動や相互連携の必要性などについて考えていただきました。

交流会プログラム

13:30	開 会
13:40	話題提供 ①武庫川流域圏ネットワークの活動について ・ 武庫川流域で活動するネットワーク組織として、取り組み事例を交えながら活動団体間および行政との連携について報告 武庫川流域圏ネットワーク 代表 山本 義和 氏 （神戸女学院大学人間科学部 名誉教授） ②武庫川上流ルネッサンス懇談会の活動について ・ ルネッサンス懇談会での取り組みと成果について事例を交え報告 武庫川上流ルネッサンス懇談会 座長 久野 武 氏 （関西学院大学総合政策学部 教授） ③淡水魚の宝庫 武庫川をどう守るのか ・ キリンビールや小学校によるカワバタモロコ保全への取り組み ・ 武庫川上流の河川改修と魚たち（武庫川で取り組む環境の「2つの原則」の効果は？） 兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員 田中 哲夫 氏 （兵庫県立大学自然・環境科学研究所 准教授）
14:40	休 憩
14:50	ワークショップ（WS） グループにわかれて、テーマ「市民連携による“よりよい武庫川づくり”の実現を目指して」について意見交換を行うとともに、その内容を発表して参加者間で共有する。
15:50	講 評 兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員 三橋 弘宗 氏
16:00	閉 会

② 参加状況

交流会への参加者は 31 名、そのうちワークショップへの参加者は 19 名でした。

③ 話題提供

交流会では、ワークショップでの意見交換が活発となるよう、3 人の先生方から話題提供をいただきました。



山本先生からは、武庫川流域で活動する武庫川流域圏ネットワークの取り組み事例ならびに活動団体間および行政との連携についてのお話をいただきました。



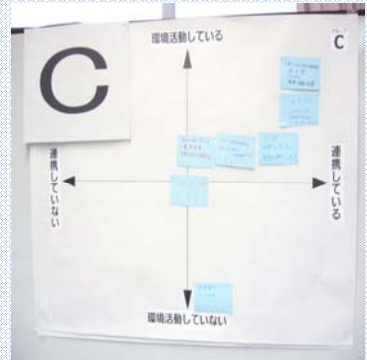
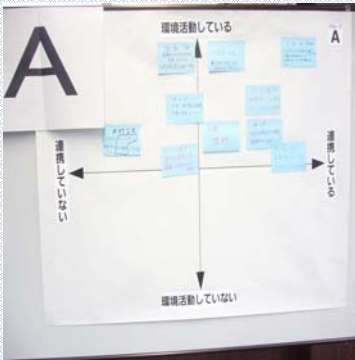
久野先生からは、武庫川上流ルネッサンス懇談会の取り組みと成果についてお話をいただきました。



田中先生からは、キリンビールや小学校によるカワバタモロコ保全への取り組みや武庫川上流の河川改修と魚たちのお話をいただきました。

④ ワークショップ

ワークショップでは、「市民連携による“よりよい武庫川づくり”の実現を目指して」をテーマに A、B、C の 3 グループに分かれて意見交換を行いました。意見はふせんに書いて模造紙上で整理し、ワークショップの進行役をしていただいた神戸女学院の皆さんに発表していただきました。



参加者の皆さんには、自己紹介として「環境活動している／していない」、「連携している／していない」の2軸を書いた模造紙に、所属団体名と氏名を記入したふせんを貼っていただきました。環境活動を行いながら、既に連携も実践されている方が多くおられました。



3グループに分かれてワークショップを行いました。参加者のほか、神戸女学院の学生のみなさんや主催者の県職員も加わり、意見交換を行いました。



所属団体の活動がうまくいっているのかどうか、またその理由は何なのかを全員で考えました。また、その結果を踏まえて、連携が必要なのかどうかについても意見交換しました。



意見交換は、意見を書いたふせんを模造紙に貼り付けて行いました。最後に各グループでどのような意見が出たのかを発表しました。発表しているのは神戸女学院の学生さんです。



グループ発表があった後、三橋先生から講評を頂きました。活動団体の課題として高齢化の相談を自らが受けた経験や、よりよい武庫川づくりには地域ごとに展開されている今ある活動を大事にしておくことの重要性などについてお話をいただきました。

ワークショップで各グループで出た主な意見は、次頁のグラフのとおりです。

団体の活動については、若者不足（団体構成員の高齢化）が課題だと述べられている方が多く、活動がうまくいっている方、うまくいっていない方の共通の課題となっています。

連携については、必要だとのこと意見がほとんどでした。必要だと思う連携の対象は様々でしたが、地域連携を望む声はやや多くなっています。

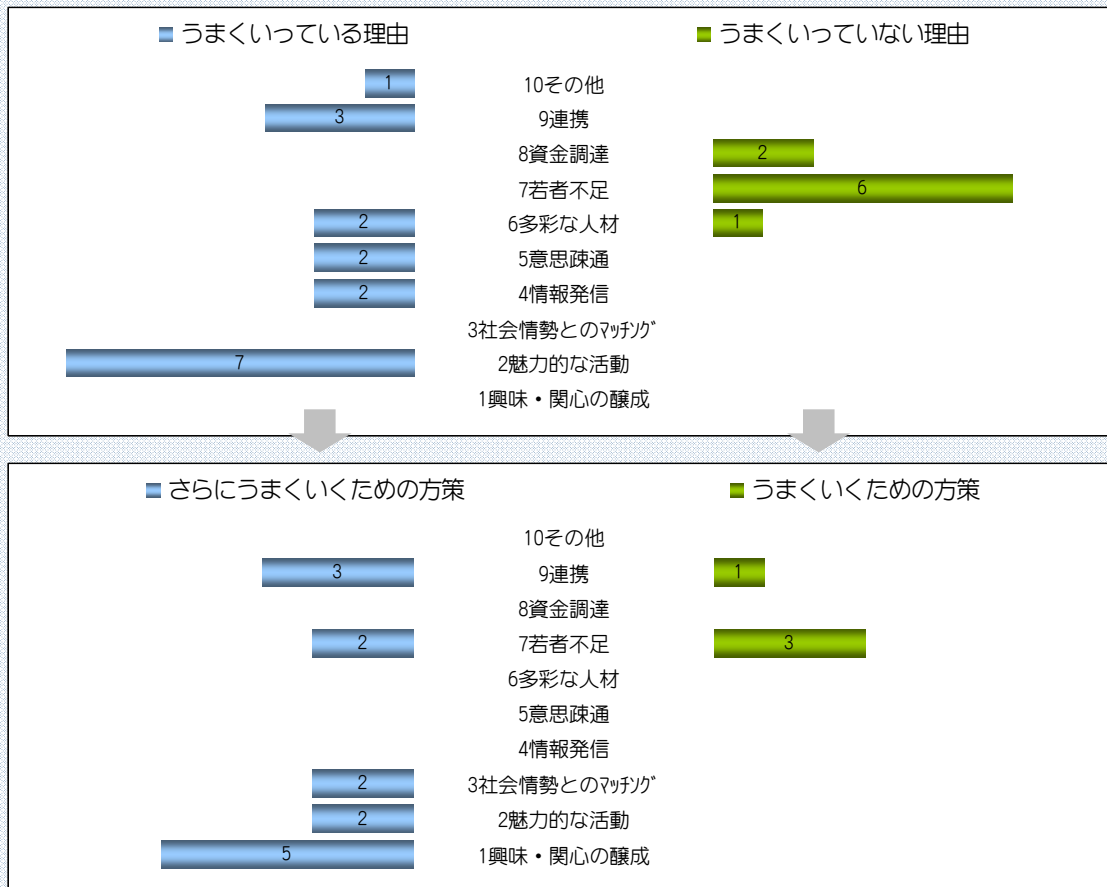


図. 活動についての主な意見（ワークショップ）

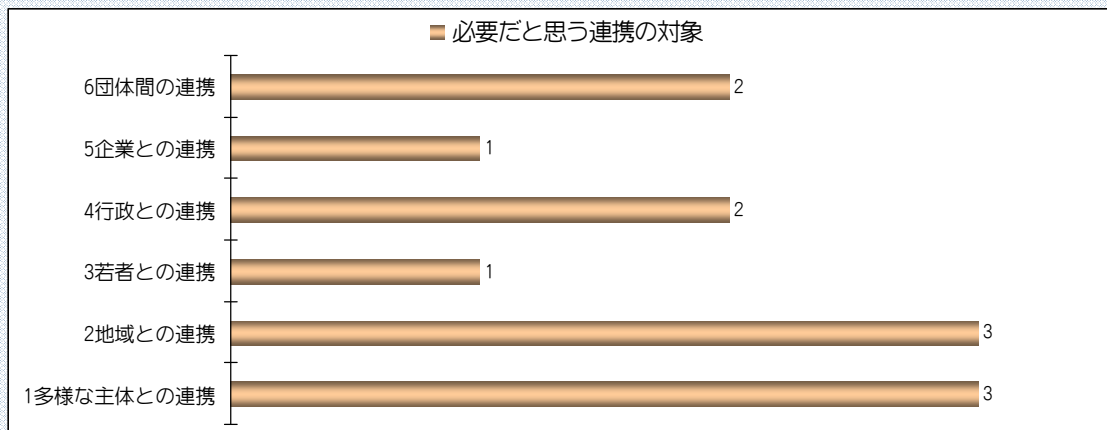


図. 連携についての主な意見（ワークショップ）

⑤ アンケート

アンケート調査については、参加者 31 名のうち、22 名の皆さんからご回答をいただきます。

今回の交流会については、ワークショップの時間が短いと感じられた参加者が多くありましたが、総じて満足いただける内容であったと考えられます。

流域連携を促進するうえでの企画としては、講演会が最も多くなっています。

表. アンケート調査の結果

問1 話題提供 について	1つの話題提供の 時間設定は	長い	ちょうど良い	短い	1人15分は短い	
		0	14	8		
	話題提供の数は	多い	ちょうど良い	少ない		
		2	18	2		
	内容の理解度	やさしい	ちょうど良い	難しい	無回答2名	
		2	18	0		
	ご自身で取り組む際の 参考になりましたか	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない		
		19	0	3		
問2 ワークショップ について	ワークショップの 時間設定は	長い	ちょうど良い	短い	WS不参加4名	
		0	5	13		
	グループ内の人数は	多い	ちょうど良い	少ない	WS不参加4名	
		0	18	0		
	ご自身で取り組む際の 参考になりましたか	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	WS不参加4名 無回答1名	
		13	2	2		
問3 交流会全体 について	平日開催について	平日が良い	日曜日・祝日 が良い	土曜日が良い	いつでも かまわない	無回答3名
		5	4	6		
	時間設定は	長い	ちょうど良い	短い		無回答6名
		0	10	6		
開催地について 希望はありますか	ある		特にない		無回答4名	
	3 ①西宮 or 宝塚 ②神戸 ③尼崎、西宮と変えると良い		15			
問4 流域連携促進 のための今後の 企画について	流域連携を促進するうえで どのような企画が必要だと思 いますか	講演会	ワークショップ	活動発表会	その他	無回答2名、 複数回答あり
		12	8	7	1 (現地見学)	
	流域連携を促進するうえで 今後取り上げてほしい テーマはありますか	①武庫川の川づくりそのもの、工事/環境等 ②水質、泡が立つ→環境はクリアするが印象が悪い ③武庫川の河川工事 ④防災対策				無回答18名
問5 その他意見	その他ご意見 (自由記入)	①活動グループを増やす ②茶飲み話ができる機会がほしい ③全体で時間不足。 ④組織の振興に役に立った ⑤泳いでも良い水質にしてほしい! (特に下流域) ⑥連携と活動の今後の参考になる情報が、役に立った				無回答16名